

関東同窓会幹事会に出席して

上原 昇（2組、
関東同窓会 65 期代表幹事）

10月15日（水）18時30分から、25年度になって二回目の関東同窓会幹事会が開かれました。幹事会は年に3回、各期の代表幹事が集まって同窓会の諸議題を議論して決める場で、総会に次ぐ重要な会議とされています。

当日は55期から104期までの期代表幹事と役員29名が参集しました。

現在、65期の代表幹事は丸山暢久君（4組）、宮原豊君（9組）と筆者の3人が務めていますが、当日は丸山君と筆者の二人の出席となりました。

今回の幹事会の主な議題は、25年度の予算や活動の進捗報告のほか、来年の新年会と総会の計画と準備状況について報告がありました。

同窓会は若手会員の減少などもあり、慢性的な財政不安を抱えながら活動しています。我々60期台の老兵も年会費納付や寄付によるサポートを、いましばらくは続けていきたいと思っています。

新年会は26年1月17日（土）15時から、いつもの日本教育会館（千代田区一ツ橋）で開催。アトラクションは若林俊介さん（110期）のトランペット演奏が予定されているとのことです。詳細は12月下旬に配られる会報に案内が掲載されますので、お待ちください。

また、来年の総会は65回目を迎え、6月28日（土）に、これもお馴染みの如水会館（千代田区一ツ橋）で行われます。78期と83期を中心とした実行委員会が組織化され、準備が着々と進められています。78期といえば我々より13年若い世代となります。65期が実行委員長を務めてから13年経ったということで、改めて時の流れを感じています。

いずれもまだ先のことですが、来年の手帳に予定メモをお願いします。



古城の門

2025年10月16日記

以上